



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

2018~
2019年度
テーマ

国際ロータリー 「インスピレーションになろう」 R.I.会長 バリー・ラシン

地区方針 「ロータリーを信奉し、奉仕に行動しよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 高山泰四郎

熊本グリーンRC 「手をつなごう、手をのばそう」

熊本グリーンRC会長 本田悟士



インスピレーションになろう

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：本田悟士 ■幹事：福島和見 ■会報担当：栗山義則
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2019年1月21日】

第1329回

2018-2019年度 第21回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「友と語ろう」(グリーンRCの歌)

来訪者紹介 (本田 悟士 会長)

- ・司法修習生 永田 基樹氏
- ・米山奨学生 シャルマ・ゴパル 君

友情の握手

会長スピーチ (本田 悟士 会長)

皆さまこんばんは。今回は新春合同例会、その翌週はハッピーマンデーのあおりで休会となっておりますので、本日が今年最初の通常例会です。あらためまして、本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

さて、当クラブの30周年記念式典まで1ヶ月を切り、本日はクラブフォーラムが予定されております。平成とともにスタートした当クラブは、平成最後の年に30周年記念式典を開催しひとつの区切りを迎えることとなります。皆様にとりましても、また、ご出席頂く(外部の)方々にとっても、意義深いものとなりますよう、引き続き積極的なご参加・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ところで、本日、私が同行いたしましたのは、今月・来月と私のもとで弁護修習を受ける

こととなった司法修習生の永田さんです。思い返せば、私自身が司法修習を受けたのは、約15年前、平成16年~17年にかけてでした。

大学では、理屈を学び議論し、より合理的・説得的・納得のいく解釈を見いだして嬉々としてこれを選び、他説を省みなかった私が、実務に初めて触れ、理屈でない人の感情、日々の生活や企業の経済活動の切実さにふれたのが司法修習でした。

また、およそ法治国家で、話し合いで解決のつかない紛争の行き着く先である裁判所の判断にかかる先例、裁判例・判例の重要性を思い知ったのが司法修習でした。

それから14年(うち10年間をロータリーに参加させていただきながらも、)日々の仕事に追われて過ごしていた私ですが、今回初めて司法修習生の指導担当を務めることとなり、当時のおもい、覚悟、願いを思い出しています。

初心を忘れることなく決意を新たに、職業においても、ロータリーにおいても、家庭生活においても、あらためて足下を固めつつさらなる飛躍につながる1年にしたいと思います。

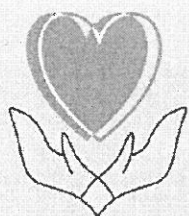
30周年を迎える当クラブにとっても、今年がそのような年となるよう、任期は半年を切りましたが、努めて参ります。引き続き、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



卓話予定

- 1/28 「創立30周年記念事業クラブフォーラム」
- 2/4 「創立30周年記念事業クラブフォーラム」
- 2/11 祝日(建国記念日)の為、例会取り止め
- 2/18 「熊本グリーンRC創立30周年記念式典」(於:ホテルキャッスル)

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>



海外応募者対象奨学金申し込み状況

2019 学年度の海外応募者対象奨学金には昨年 12 月 15 日の締切までに、世界 27 の国・地域から 135 件の申し込みがありました。このうち、必須書類未提出や、勉学のため来日歴があることなどによる無資格が 51 件あり、最終的な有効申込数は 84 件（複数校を併願している者の重複を含む）となりました。

有資格者の国・地域別ではベトナム、インドネシアが多く、ロータリー地区別では 34 地区中 23 地区で申し込みがあり、最も多い第 2750

地区が 20 件、次いで第 2760 地区が 19 件となっています。

当会事務局で応募書類をチェック後、1 月中旬に各地区へ応募書類を郵送し、地区選考委員会による選考を経て合格者が決定します。

海外応募者対象奨学金は 2019 学年度から正規の奨学金プログラムとなります。海外在住の日本留学希望者が個人で直接応募できるため、国籍や人材の多様化を進めることが期待されています。

2019-20 年度地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

12 月 11 日、次年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第 1 回セミナーを開催し、齋藤直美理事長、水野 功常務理事、全 34 地区の次期米山奨学委員長（代理含む）にご参加いただきました。

午前は、当会評議員であり第 2700 地区米山奨学委員長の吉田知弘氏から、「委員長を経験して気付いた米山事業の魅力と可能性」、また、第 2530 地区ガバナーノミニーであり地区米山奨学委員長の石黒秀司氏より「R I 第 2530 地区の事例」について、熱く語っていただきました。午後は事務局から各種資料説明、続いて 4 グループに分かれ



て理解促進や奨学生選考と育成、学友会などについて活発な意見交換をしていただきました。

次期地区米山委員長セミナーは年 2 回開催しており、今回は 6 月 20 日に予定しています。

寄付金速報 — 今年もよろしくお願ひします —

12 月までの寄付金は前年同期と比べて 1.5% 減（普通寄付金:0.5%増、特別寄付金:2.3%減）、約 1,400 万円の減少となりました。前月に比べ、前年同期との差額がさらに増加したように思われますが、直近 10 年間の中でも三番目に多い金額です。ご寄付をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

「2018 年度 下期普通寄付金のお願い」を

当会から直接、またはガバナー事務所を經由して全クラブにご案内いたしました。普通寄付金は当会事業の重要な安定財源であり、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に、財団法人設立の許可を得た経緯があります。当事業は全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、今年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。